

口頭発表

20日 A 会場(大講義室)

時刻		タイトル	発表者
9:30	A1	マガンによる牧草の採食: 植生現存量と土壌窒素動態に及ぼす影響	○嶋田哲郎(宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)・溝田智俊(岩手大・農)
9:45	A2	個体レベルで見えてくるゴイサギ(<i>Nycticorax nycticorax</i>)の活動周期と給餌生態	○小笠原義之(弘前大・院・農学生命科学)・佐原雄二(弘前大・農学生命科学部)
10:00	A3	ムクドリ就寝行動と果実採食	○平田令子・平井周作(鹿大院・農)・畑邦彦・曾根晃一(鹿大・農)
10:15	A4	ヤマドリの生態について(婚姻関係)	高橋松人(三重県野鳥研究会)
10:30	A5	ヤマドリの尾羽の羽色の濃淡に関連する環境要因	○坂梨仁彦(熊本県・博物館プロジェクト班)・森本元(立教大学・理)・川路則友(森林総研・北海道)・小池裕子(九州大学・比文)
10:45	休憩		
11:00	A6	ブッポウソウ(<i>Eurystomus orientalis</i>)の繁殖生態調査	○水野聖子 ¹ ・峯光一 ² ・浅山泰祐 ³ ・井上真久主 ³ ・山根昭 ⁴ ・大谷良房 ⁴ ・松島庚 ⁵ ・三枝誠行 ⁵ (1: 岡山大学マッチングプログラムコース、2: (株)南西環境研究所(沖縄県中頭郡)、3: 岡山理科大学総合情報学部、4: 日本野鳥の会岡山県支部、5: 岡山大学理学部)
11:15	A7	画像処理を利用したブッポウソウ(<i>Eurystomus orientalis</i>)の営巣活動調査	○浅山泰祐 ¹ ・井上真久主 ² ・水野聖子 ³ ・山根昭 ⁴ ・大谷良房 ⁴ ・澤見英男 ¹ ・三枝誠行 ⁵ (1: 岡山理科大・総合情報学部、2: 岡山理科大・総合情報研究科、3: 岡山大・マッチングプログラムコース、4: 日本野鳥の会岡山県支部、5: 岡山大学理)
11:30	A8	オオセツカ <i>Locustella pryeri</i> の仔殺し	○高橋雅雄(立教大・動物生態)・上沖正欣(立教大・動物生態)・蛭名純一(NPO おおせつからんど)・宮彰男(NPO おおせつからんど)・上田恵介(立教大・動物生態)
11:45	A9	寄生者-宿主信号マッチング: in ジュウイチ v.s. ルリビタキ	○田中啓太(理研・BSI/学振PD)・森本元・上田恵介(立教大・理・生命理学)
12:00	昼休み		
13:15	A10	絶食がウズラ消化管の糖輸送体と血糖値に及ぼす影響	○土屋剛・横田朋子(石巻専修大学)
13:30	A11	都市騒音がシジュウカラのさえずりに及ぼす影響-オス間競争を考慮した分析	○濱尾章二(国立科博・自然教育園)・渡部末緯子・森貴久(帝京科学大)
13:45	A12	燃えないあずまや	○三上修 ¹ ・勝野陽子 ² ・山下大輔 ¹ ・Richard Noske ³ ・江口和洋 ¹ (1: 九大・理、2: 九大・比文、3: Charles Darwin Univ.)
14:00	A13	緑でキマる飾り物-オオニワシダの色彩嗜好-	春山菜央子(九大院・システム生命・生態)・江口和洋(九大院・理・生物)
14:15	A14	冬季新潟県沿岸で観察されたウミアイサの配偶行動	○千葉晃(日歯大・新潟)
14:30	A15	オナガガモが春の渡り初期にウロウロするのはなぜ?	○平岡恵美子・山口典之・樋口広芳(東大・農・生物多様性)
14:45	A16	ダイトウメジロに年の功はあるのか-営巣場所選択における経験の効果-	○堀江明香・高木昌興(大阪市立大・院理・動物機能生態)
15:00	A17	モズが同一繁殖期に低地と高地の異なった地域で繁殖することが実証された!	○今西貞夫(東京都国分寺市)・H. A. Carola (Virginia Polytech. Univ.)・三木徹(姫路市立水族館)・黒田治男(兵庫県揖保郡太子町)・松本充子(標識協会)
15:15	A18	鳴き声からみたリュウキュウコノハズクの3つのグループ	○高木昌興(大阪市立大・院理・動物機能生態)

20日 B 会場(5講義室)

時刻		タイトル	発表者
9:30	B1	DNA バーコーディングから明らかとなった、種内に大きな遺伝的変異をもつ東アジア地域で繁殖する鳥類種について	○齋藤武馬 ¹ ・染谷さやか ² ・小林さやか ¹ ・岩見恭子 ² ・浅井芝樹 ¹ ・西海功 (1:山階鳥研、2:国立科学博物館)
9:45	B2	クロツラヘラサギ <i>Platalea minor</i> における遺伝的構造の解析	○曹炯柱(九大・比文)・韓尚勲(韓国国立生物資源館)・鄭鐘烈(朝鮮大)・小池裕子(九大・比文)
10:00	B3	伊豆諸島と本土のヤマガラの集団構造 その II: オーストンヤマガラ亜種内の集団構造	○藤田薫 ¹ ・西海功 ² ・山口典之 ³ ・樋口広芳 ³ (1:東邦大・理・生物・地理生態学、2:国立科学博物館、3:東大・農・生物多様性)
10:15	B4	エゾムシクイ <i>Phylloscopus borealoides</i> とウスリームシクイ <i>P. tenellipes</i> の識別	○茂田良光(山階鳥類研究所)・齋藤武馬(山階鳥類研究所)・岡部海都(日本野鳥の会福岡支部)・Paul J. Leader (Asia Ecological Consultants Ltd., Hong Kong)
10:30	B5	オーストンオオアカゲラの系統的位置づけ	○長谷川理(エコ・ネットワーク)・小高信彦(森林総研九州)
10:45	休憩		
11:00	B6	人類の環境改変が八重山諸島のカラスに適応放散を引き起こした	○山崎剛史(山階鳥類研究所)・松原始(東京大学)・上開地広美(東京農業大学)
11:15	B7	山のカラス・里のカラス	○森下英美子(文京学院大・環境教育)・松原始(東大・総合研究博物館)・酒井聡一・小島淳一・対馬絵美・大堀希・濱田ひかる・中山智晴(文京学院大・環境教育)
11:30	B8	ハシボソガラス (<i>Corvus corone</i>) における配偶相手交代のプロセスとしての一時的な1夫2妻について	○中村眞樹子(札幌カラス研究会)・竹中万紀子(東海大学・生物理工学部)
11:45	B9	八代海におけるクロツラヘラサギの越冬生態	○高野茂樹(熊本大・自然科学研究科)・逸見泰久(熊本大・沿岸域センター)
12:00	昼休み		
13:15	B10	シギチドリ類の渡りに何が起きているのか? - 渡りの中継地における経年変化の分析から -	○鈴木弘之(日本野鳥の会)・芝原達也(UMS)・小山文子(千葉県ウエットランドガイド)
13:30	B11	コハクチョウとオオハクチョウの春の渡り衛星追跡	○樋口広芳・藤田剛・平岡恵美子・土方直哉(東大・農)・時田賢一(我孫子市鳥博)・嶋田哲郎(伊豆沼サンクチュアリセンター)・ほか10名
13:45	B12	渡り鳥追跡に使われているARGOSシステムの留意点	○北野利彦・中島功・十蔵寺寛・木ノ上高章・梅澤和夫・猪口貞樹・桑平一郎(東海大学)・片山正昭(名古屋大学)・市田則孝(バードライフ・インターナショナル)
14:00	B13	ウミネコ <i>Larus crassirostris</i> の生き残るための戦略	○塩見浩二(市立函館高校)
14:15	B14	ウミネコの対捕食者防衛強度の個体変異: 集団繁殖における機能と意義	○風間健太郎・綿貫豊(北海道大・水産)
14:30	B15	ウミネコにおけるテロメアの年次変化 - 経過報告 -	○水谷友一 ¹ ・富田直樹 ² ・新妻靖章 ² ・依田憲 ¹ (1:名大院・環境学、2:名城大・農学部)
14:45	B16	ウトウの着地行動に影響する要因: カモメ類による餌略奪リスクと巣の位置	○平田和彦・綿貫 豊(北大水産)
15:00	B17	飛んでいる鳥の進む方向の変化とそのモデル化による定量的分析	○島谷健一郎(統計数理研究所)・依田憲(名古屋大)

21日 A 会場(大講義室)

時刻		タイトル	発表者
10:00	A19	風力発電機の稼働時と停止時で鳥類の生息状況は違うか？	○武田恵世(日本野鳥の会・三重県)
10:15	A20	小笠原諸島西島におけるノヤギ、クマネズミ排除後の鳥類相変化	○川上和人(森林総合研究所)
10:30	A21	モンスターガラスを作らない方法	○竹中万紀子(東海大札幌校舎)・中村眞樹子(札幌カラス研究会)
10:45	A22	減少傾向にある日本のライチョウ個体群	○中村浩志(信州大・教育)
11:00	休憩		
11:15	A23	千羽鶴の嘆きータンチョウの個体群成長に伴う問題ー	○正富宏之(タンチョウ保護研)・正富欣之(北大院・農研)
11:30	A24	試験放鳥1年でトキの何がわかったか？	○永田尚志(新潟大・超域研究機構)
11:45	A25	再導入されたコウノトリの繁殖における雌雄の役割分担	○前田了(兵庫県立大・環境人間)・大迫義人・江崎保男(兵庫県立大・自然研)
12:00	A26	再導入されたコウノトリの移動と分散	○大迫義人・内藤和明・池田啓(兵庫県立大学自然・環境科学研究所)
12:15	昼休み		
13:30	講演 奨励賞受賞	亜熱帯性島嶼に近年確立したモズ個体群の生活史	○松井晋(大阪市大・院理・動物機能生態)
14:00	休憩		
14:15	A27	ルリカケスの繁殖生態(Ⅲ)ー巣箱による、種内競争の観察と域外保全ー	○石田健 ^{1,2} ・川口和範 ² ・高美喜男 ² ・鳥飼久裕 ² (1: 東京大学、2: 奄美野鳥の会)
14:30	A28	リンゴ園に生息するフクロウの採食生態と環境利用	○佐藤翔(弘前大学、現日本工営株式会社)・東信行(弘前大学)
14:45	A29	岩手県におけるサシバの採食環境と採食成功率との関係	○東淳樹(岩大・農)・津田健伍(元岩大・農)・河村詞朗・糸川拓真・河端有里子・金子絵理(岩大院・農)・大島和峰(元岩大院・農)
15:00	A30	外来種駆除でオガサワラノスリが減少する？	○千葉夕佳・千葉勇人(小笠原村在住)
15:15	A31	ハチクマが東シナ海周辺を渡るとき、春・秋で異なる移動経路を選択するのは何故か	○山口典之・本田裕紀郎(東大・農・生物多様性)・島田泰夫(日本気象協会)・有澤雄三(気象情報通信)・樋口広芳(東大・農・生物多様性)
15:30	休憩		
15:45	A32	オオワシ・オジロワシの行動記録システムの開発	○松本経・帰山雅秀(北海道大院・水産)・島谷健一郎(統計数理研)・齊藤慶輔(猛禽類医学研)
16:00	A33	オオタカの採食行動	○大堀聰(早稲田大学・自然環境調査室)・内田博(比企野生生物研究所)
16:15	A34	青森県において観察された尾羽が青灰色のチョウゲンボウの幼鳥	○黒尾正樹・長内淳次(弘前大学大学院・農学生命科学研究科)
16:30	A35	イヌワシ行動圏内における潜在的な採餌環境分布の季節変化	○布野隆之・関島恒夫(新潟大学・自然科学)・村上拓彦(新潟大学・農学部)・阿部學(日本猛禽類研究機構)
16:45	A36	鳥類の個体数変化を監視するフレームワーク: シギ・チドリ類を例として	○天野達也(農環研)・神山和夫(バードリサーチ)・T Székely (Univ. Bath)・W J. Sutherland (Univ. Cambridge)
17:00	A37	京都巨椋干拓地における水田鳥類群集の変化ー30年前との定量比較	○江崎保男(兵庫県立大・自然研)・脇坂英弥(兵庫県立大・環境人間)・遠藤菜緒子(兵庫県立人と自然の博物館)

21日 B 会場(5講義室)

時刻		タイトル	発表者
10:00	B18	伊豆諸島鳥島におけるアホウドリの保護の成功	○長谷川博(東邦大・理・生物)
10:15	B19	血液成分から見た人工飼育および発信機装着がアホウドリ雛に及ぼす影響	○出口智宏 ¹ ・渡辺ユキ ² ・佐藤文男 ¹ ・仲村昇 ¹ ・尾崎清明 ¹ (1:山階鳥類研究所、2:阿寒国際ツルセンター)
10:30	B20	ハシブトウミガラスの採餌行動の年変化－海水温の年変化との関連性－	○國分互彦・高橋晃周(極地研)・伊藤元裕・松本経(北大院・水)・A. S. Kitaysky (アラスカ大)・綿貫豊(北大院・水)
10:45	B21	ハシブトウミガラスの採餌行動－抱卵期と育雛期の比較－	○伊藤元裕(北大)・高橋晃周・國分互彦(極地研)・A. S. Kitaysky(UAF)・綿貫豊(北大)
11:00	休憩		
11:15	B22	カムリウミスズメの巣立ちその後	○中村豊(宮大・フロンティア)・末吉豊文(宮崎県総合博物館)・福島英樹(宮崎県教育委員会)
11:30	B23	瀬戸内海におけるカムリウミスズメの換羽について	藤井格 ¹ ・○橋口大介 ² ・藤井香織 ¹ ・鈴木淳司 ³ (1:生物群集研究所、2:野生生物保全研究所、3:アジア航測株式会社)
11:45	B24	カムリウミスズメ <i>Synthliboramphus wumizusume</i> の生態と年齢識別・換羽に関する新たな知見について	○飯田知彦(広島県教育委員会)
12:00	B25	瀬戸内海でのヒナを含むカムリウミスズメの4・5月期における確認	○武石全慈(北九州市立自然史・歴史博物館)
12:15	昼休み		
13:30			
14:00	休憩		
14:15	B26	海鳥による種子散布	○青山夕貴子(東北大院・生命)・川上和人(森林総研)・千葉聡(東北大・生命)
14:30	B27	コアジサシの出生地コロニーの存否と繁殖個体の移動の関係等	○北川捷康・川合正晃(静岡県渡り鳥研究会)
14:45	B28	尾腺ワックスを用いた海鳥の残留性汚染物質の地球規模モニタリング	○山下麗・高田秀重・中沢亜梨砂・宮崎麻衣(東京農工大・農)・仲村昇(山階鳥研)・伊藤元裕・綿貫豊(北大・水産)
15:00	B29	カツオドリの船を利用したトビウオの捕獲	○杉田典正(立教大院・理)・上田恵介(立教大・動物生態)
15:15	B30	長寿命鳥類において育雛期の環境条件が個体群の動態に与える影響	○富田直樹 ¹ ・成田憲一 ² ・成田章 ³ ・水谷友一 ⁴ ・杉浦里奈 ⁵ ・藤井英紀 ⁴ ・新妻靖章 ¹ (1:名城大・農、2:八戸市、3:青森県立八戸聾学校、4:名古屋大院・環境学、5:名城大院・農)
15:30	休憩		
15:45	B31	異なる餌環境下におけるカワウの卵黄形成日数	○井上裕紀子(北大院・水産)・藤井英紀・黒木博文(名大・情報)・新妻靖章(名城大・農)・綿貫豊(北大院・水産)
16:00	B32	加速度データロガーを用いたカワウ幼鳥の飛翔・潜水行動の発達に関する研究	○佐々木幸穂 ¹ ・田島忠 ¹ ・井上裕紀子 ² ・藤井英紀 ¹ ・新妻靖章 ³ ・佐藤克文 ⁴ ・依田憲 ¹ (1:名大院・環境、2:北大院・水産、3:名城大・農、4:東大・海洋研)
16:15	B33	カワウに対する忌避効果の高い刺激の選定	○桑山大実(長岡技科大・生物機能工学)・山本麻希(長岡技科大・生物系)
16:30	B34	矢作川流域に生息するカワウの甲状腺組織の年次変化	○藤井英紀 ¹ ・新妻靖章 ² ・依田憲 ¹ (1:名古屋大・環境、2:名城大・農)
16:45	B35	5年間におよび繁殖抑制がカワウ繁殖コロニーにおける営巣数におよぼす影響	○坪井潤一・芦沢晃彦(山梨県水産技術センター)
17:00	B36	沿岸コロニーと内陸コロニー間のカワウの採餌行動の違い	○黒木博文 ¹ ・土屋健司 ² ・井上裕紀子 ³ ・藤井英紀 ¹ ・依田憲 ¹ ・新妻靖章 ² (1:名大院・環境学、2:名城・農、3:北大院・水産)
17:15	B37	アオサギの繁殖コロニーの放棄はどのような林床植生を成立させるのか？：植物種の生態的特性に着目した解析	○上野裕介(筑波大・生命環境)・野田隆史(北大・地球環境)・堀正和((独)瀬戸内水研)